

経営後継者研修だより

12月のトピック 自社業界・業務プロセス分析の成果を発表し、自社の財務分析に取り組みました。

12月14日、11月から取り組んでいた自社業界・業務プロセス分析の成果発表を行いました。本分析では、自社の経営者や従業員へのヒアリング、現場観察を通じて調査をします。そして、自社で価値を生み出しているフローの強み、情報が滞っているフロー等の問題点の原因を分析し、改善策を発表しました。

また、12月からは財務分野の講義が本格的にスタートしました。苦手意識を持っている研修生も多いですが、財務が得意な研修生がフォローするなど研修生同士で支え合いながら粘り強く取り組んでいます。

今月は「自社業界・業務プロセス分析（発表）」と「自社決算書・財務分析」をテーマとし、広報委員の4名に感想を伺いました。

自社業界・業務プロセス分析（発表）

私は自社3つの事業のうち1つの事業に従事してきたため、他2つの事業について全く知らない状況でした。今回の業務プロセス分析を通して2つの事業の業界動向を知り、担当者の方としっかりと話ができたことで、全社的な視点で分析を進められました。また自社の業界での立ち位置、業務プロセスの中の強みや改善点も見つけることができました。今回の発表から会場が教室から講堂と広くなり、緊張感が増したと思います。それでも1回目より全体的にプレゼン内容、見せ方もレベルアップしていて、良い刺激をたくさん受けました。私も分析の仕方、報告書・プレゼン内容の向上に努めたいと思います。

【富士見工業株式会社 山本縁】

私は今回2つの事業について現在、将来の業界動向と営業～支払いまでの業務プロセスをヒアリング分析しました。業界動向については自社を知ることは勿論、自社の向かうべき指標を作る上でとても参考になりましたし、業務プロセスについても売上を生み出す仕組みへの理解と社長がどのような思いで仕組みを作り上げたかの理解にも繋がりました。発表においては研修生全員のPowerPoint構成がとても上手くなっていました。1回目は文字だけのPowerPointも多かったですが上手い人の発表を真似することで視覚的に飽きないような構成作りになっていました。【三峰電気株式会社 澤田知紘】

自社決算書・財務分析

財務の講義にて、5期分の自社決算書から、自社のお金の変動の傾向が見える化しました。そして、財務分析では、自己資本比率や流動比率を用いて、自社を客観視しました。上記比率について、平均的な数値と自社との数値を比較して、良い・悪いがわかってきました。今回の財務分析の目的としては、課題・改善点を見つけ出すことです。最終的には、人・物・金の方針策定を目標にしっかりと自社分析をしています！【株式会社昭栄 黒田智隆】

入社から20年。自社の決算書を初めて見たと思います。この仕事の売上がいくらとか、経費が〇円で人件費〇%、粗利は〇円くらいだろうなど、自社にいたときは、目先の損益計算しか考えていませんでした。今回、仕組みを理解した上で決算書を見ることができ、かなり深いものを感じました。5期での比較分析でしたが、会社の成長過程が面白いように数字に表れています。業績は下がるときも上がるときもあります。しかし、どうして利益幅があるのか、なぜ借りに増減があるのか、すべてが数字だからこそ何が要因かわかるのです。今は財務を勉強中ですが、今後のためにとっても大事なことだとわかりました。さらに理解を深めることを目指したいと思います。【竹下産業株式会社 竹下将広】



自社業界・業務プロセス分析発表の様子です。



財務分野の講義、真剣に取り組んでいます。

INFORMATION

東京校 企業研修課からのお知らせ

第 43 期経営後継者研修 **第一次募集の締め切りは、2022 年 3 月 31 日（木曜）**です。

定員になり次第、募集を締め切ります。ご受講を検討されている方は、お早めにお申し込みください。